

世界のリートファンド・3地域分散タイプ (毎月決算型)

愛称：リート三銃士

追加型投信／海外／不動産投信

2021年7月9日に満期償還となる予定です。

作成対象期間：2020年1月10日～2020年7月9日

第100期決算日：2020年2月10日 第103期決算日：2020年5月11日

第101期決算日：2020年3月9日 第104期決算日：2020年6月9日

第102期決算日：2020年4月9日 第105期決算日：2020年7月9日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界3地域リートマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の不動産投資信託証券を高位に組み入れる運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第105期末 (2020年7月9日)

基準価額 9,418円

純資産総額 892百万円

第100期～第105期

騰落率 -17.8%

分配金合計(*) 660円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

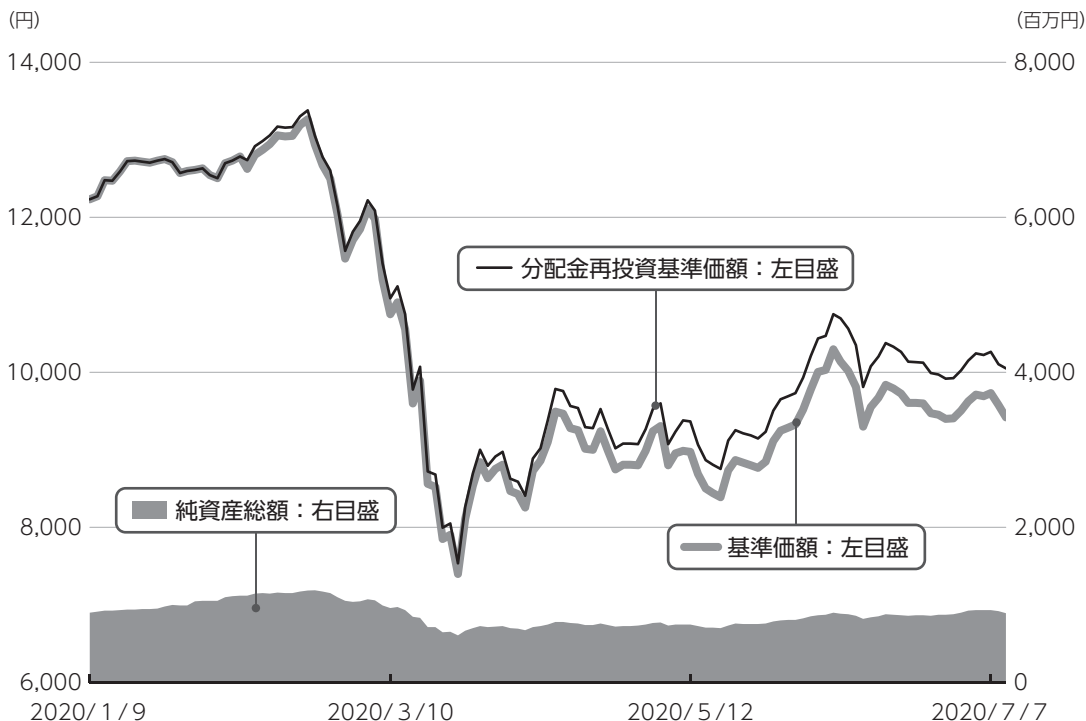
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第100期～第105期：2020年1月10日～2020年7月9日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第100期首	12,229円
第105期末	9,418円
既払分配金	660円
騰落率	-17.8%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ17.8%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

新型肺炎の感染拡大を受けた投資家心理の悪化や経済の落ち込みなどを背景に、保有するリート価格が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

各国中央銀行による緩和的な金融政策などを背景に、米ドルや英ポンドなどが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

個別銘柄では、新型肺炎の感染拡大に伴うオフィスや店舗閉鎖の影響を受けた「GPT GROUP（オーストラリア／各種・分散投資型）」や、反政府抗議デモなどを背景に投資家心理が悪化した「LINK REIT（香港／店舗用）」などが下落し、基準価額の下落要因となりました。

2020年1月10日～2020年7月9日

1万口当たりの費用明細

項目	第100期～第105期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	83	0.811	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(48)	(0.466)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(31)	(0.301)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.034	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(3)	(0.034)	
(c) 有価証券取引税	3	0.031	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(3)	(0.031)	
(d) その他費用	4	0.042	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.040)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	93	0.918	

作成期中の平均基準価額は、10,266円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

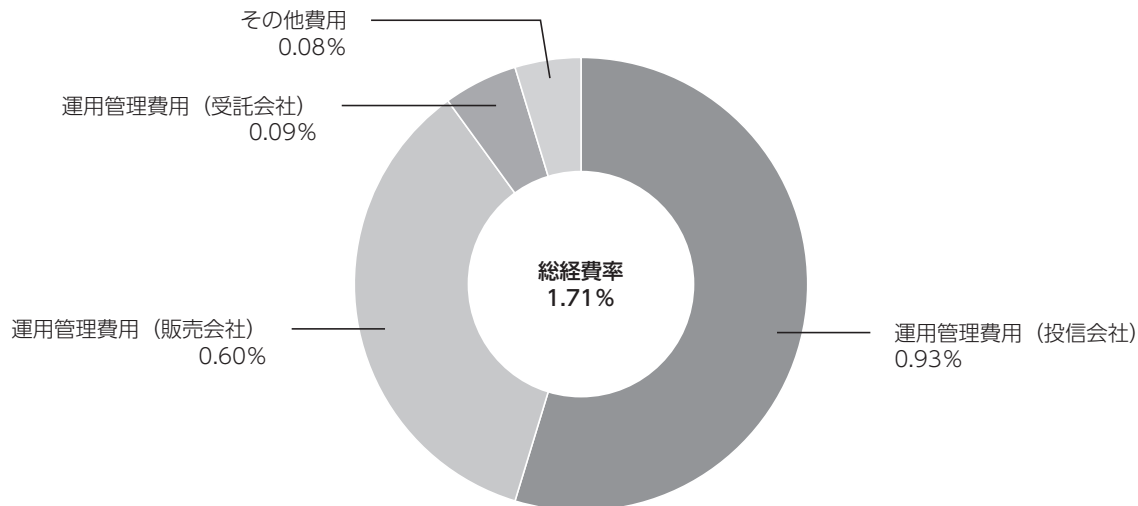
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.71%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年7月9日～2020年7月9日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2015年7月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015/7/9 期初	2016/7/11 決算日	2017/7/10 決算日	2018/7/9 決算日	2019/7/9 決算日	2020/7/9 決算日
基準価額 (円)	21,611	16,561	15,161	13,097	12,323	9,418
期間分配金合計（税込み） (円)	—	2,880	2,880	2,580	1,980	1,500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-11.1	9.8	3.8	10.6	-12.6
純資産総額 (百万円)	104	87	114	151	445	892

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第100期～第105期：2020年1月10日～2020年7月9日

投資環境について

▶ リート市況

リート市況は当作成期を通してみると下落しました。

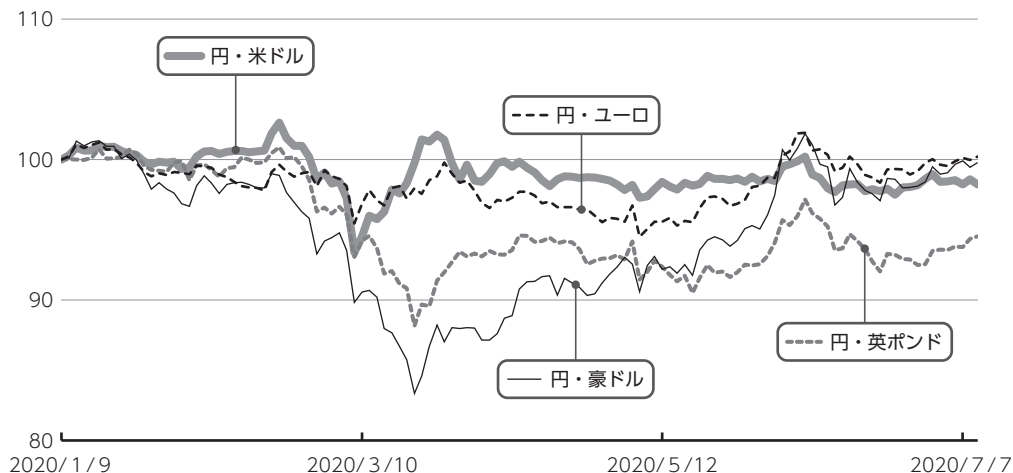
当作成期首から2020年2月中旬までは、持続する低金利が経済活動をサポートするとの思惑などから上昇しましたが、2月後半から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた投資家心理の悪化などから大きく下落しました。その後は、各国政策当局による金融緩和策や財政政

策に加え、新型コロナウイルスの感染拡大にピークアウトの兆しが見えたことを受けて、経済活動の一部正常化の動きなどが好感されて上昇しましたが、当作成期を通してみると下落しました。

▶ 為替市況

為替市況は、当作成期首に比べ、米ドルや英ポンドなどが対円で下落しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 世界のリートファンド・3地域分散タイプ（毎月決算型）

世界3地域リートマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の不動産投資信託証券を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ 世界3地域リートマザーファンド

主に北米、欧州、アジア・オセアニア（日本を除く）の3地域の不動産投資信託証券に分散投資し、各地域への投資比率を概ね3分の1程度とした運用を行いました。

財務の健全性、配当の安定性および成長

性、キャッシュフローの成長性などに基づいて組入銘柄を選定いたしました。リートの組入比率については、作成期を通じて高位を維持し、組入銘柄については、作成期首には56銘柄としておりましたが、作成期中において組入銘柄を減らし、作成期末には52銘柄としました。銘柄の売買については、バリュエーションで割高になったと思われる銘柄や新型コロナウイルスの影響が懸念される銘柄などを売却し、配当利回りや割安性においてより魅力的な銘柄や新型コロナウイルスの影響が相対的に小さいと見られる銘柄などを買い付けました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2020年1月10日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月9日	2020年3月10日～ 2020年4月9日	2020年4月10日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月9日	2020年6月10日～ 2020年7月9日
当期分配金 （対基準価額比率）	110 (0.864%)	110 (0.973%)	110 (1.194%)	110 (1.209%)	110 (1.073%)	110 (1.154%)
当期の収益	110	13	28	17	7	48
当期の収益以外	—	96	81	92	102	62
翌期繰越分配対象額	6,344	6,249	6,169	6,077	5,975	5,917

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 世界のリートファンド・3地域分散タイプ（毎月決算型）

マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界の不動産投資信託証券を高位に組み入れ、信託財産の成長を目指す運用を行います。

▶ 世界3地域リートマザーファンド

新型コロナウイルスの影響により世界経済は2020年前半は急激に落ち込みますが、各国当局による金融緩和策や財政政策により2020年後半には一部回復がはじまり、2021年はプラス成長へ回帰するとみています。リートの利益成長率については、2020年は1桁台半ばから若干のマイナスに下方修正しましたが、2021年には1桁台半ばまで回復する見通しです。足元では、リートの多くは実物不動産に比べて相対的に割安な状態にあると考えており、当ファンドでは引き続き堅固な財務を有し、優良不動産を保有するリートを中心に組み入れを行う方針です。なお、各地域の運用方針は以下の通りです。

北米地域のアメリカ市場については、経営陣の質が高く、堅固な財務を維持しており、引き続き魅力度の高い市場です。セクターでは、構造的な変化を受けて強

い需要が見込まれるデータセンターや通信塔、物流施設などに注目する一方、新型コロナウイルスの影響を大きく受ける店舗用やオフィス銘柄は慎重に見ています。カナダ市場については、配当利回りが高いことや不動産の需給バランスが安定的であるものの、収益成長の面などから慎重にみています。

欧州大陸市場については、魅力的なキャッシュフローと配当利回りを有し、財務が健全なリートを選好します。セクターでは、新型コロナウイルスの影響が相対的に小さいと見られる物流施設などの工業用銘柄を選好します。イギリス市場も同様の理由から、工業用銘柄を選好します。

アジア・オセアニア地域のオーストラリア市場については、事業環境が堅固な大都市に所在するオフィス不動産を所有する銘柄や、オンライン市場の拡大などを受けて業績拡大が期待される工業用銘柄を魅力的とみている一方、店舗用銘柄などは慎重にみています。シンガポール市場については、相対的な配当利回りの高さが魅力的ですが、新規供給が続くオフィス銘柄は慎重にみており、底堅い需要が続く工業用銘柄などを選好します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

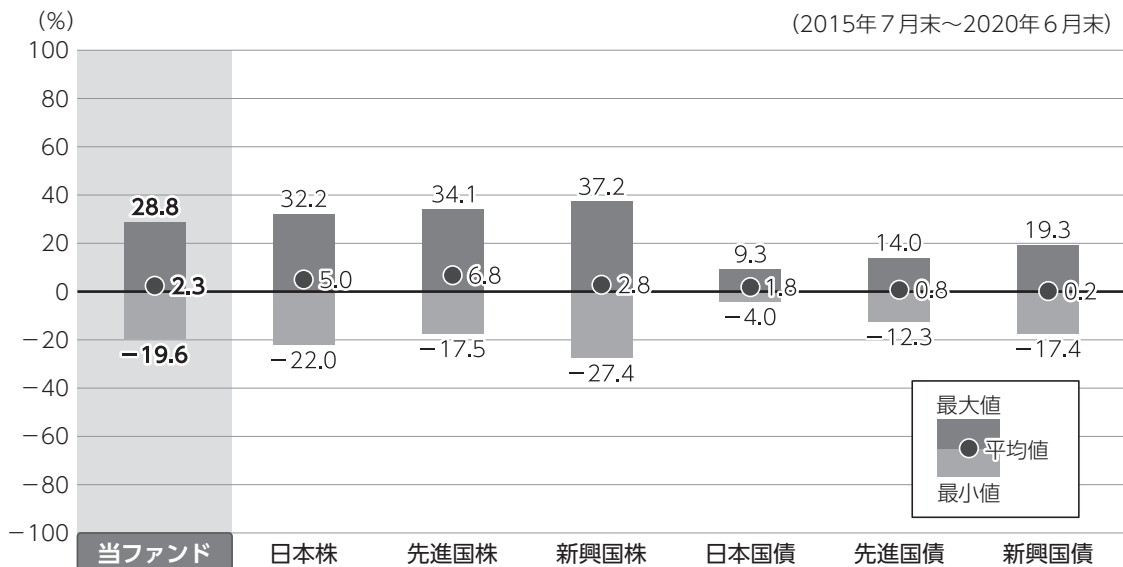
- ・当ファンドは信託約款に基づき、2021年7月9日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2021年7月9日まで（2011年9月26日設定）
運用方針	世界3地域リートマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保および値上がり利益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの運用の指図に関する権限は、シービーアールイー・クラリオン・セキュリティーズ・エルエルシーに委託します。
主要投資対象	<p>■当ファンド 世界3地域リートマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■世界3地域リートマザーファンド 日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保および値上がり利益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年7月から2020年6月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年7月9日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第105期末 2020年7月9日
世界3地域リートマザーファンド	99.7%

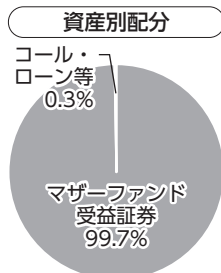
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

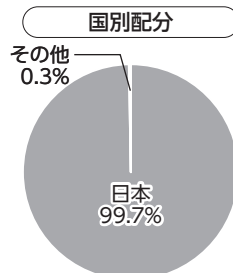
項目		第100期末 2020年2月10日	第101期末 2020年3月9日	第102期末 2020年4月9日	第103期末 2020年5月11日	第104期末 2020年6月9日	第105期末 2020年7月9日
純資産総額	(円)	1,119,596,177	990,286,325	745,185,778	746,577,889	886,815,935	892,325,739
受益権口数	(口)	886,754,522	884,786,926	818,954,715	830,678,307	874,617,584	947,502,389
1万口当たり基準価額	(円)	12,626	11,192	9,099	8,988	10,139	9,418

※当作成期間中（第100期～第105期）において追加設定元本は504,125,109円
同解約元本は 293,824,450円です。

種別構成等

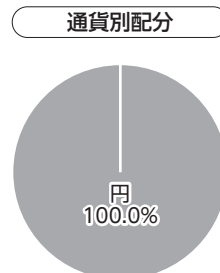


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。



290315

2020年7月9日現在

組入上位ファンドの概要

世界3地域リートマザーファンド

基準価額の推移

2019年7月9日～2020年7月9日



1万口当たりの費用明細

2019年7月10日～2020年7月9日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (投資信託証券)	9 (9)	0.059 (0.059)
(b)有価証券取引税 (投資信託証券)	12 (12)	0.076 (0.076)
(c)その他費用 (保管費用) (その他)	11 (11) (0)	0.068 (0.067) (0.001)
合計	32	0.203

期中の平均基準価額は、15,880円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：52銘柄)

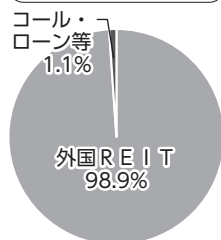
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	CROWN CASTLE INTL CORP	REIT	アメリカ	不動産	5.1
2	LINK REIT	REIT	香港	不動産	4.6
3	PROLOGIS INC	REIT	アメリカ	不動産	4.4
4	INGENIA COMMUNITIES GROUP	REIT	オーストラリア	不動産	4.2
5	WAREHOUSES DE PAUW SCA	REIT	ベルギー	不動産	3.4
6	GPT GROUP	REIT	オーストラリア	不動産	3.4
7	DEXUS	REIT	オーストラリア	不動産	3.3
8	CAPITALAND MALL TRUST	REIT	シンガポール	不動産	3.1
9	CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	REIT	オーストラリア	不動産	2.9
10	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	REIT	シンガポール	不動産	2.8

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

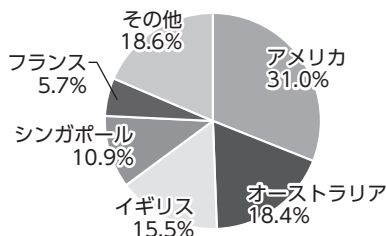
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

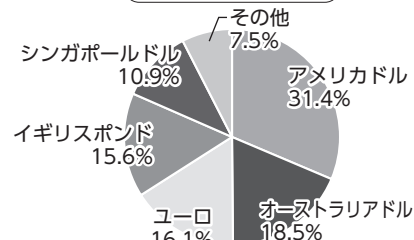
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出して公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信